

ブレットさんの いんたーなしょなる 国際コーナー

Volume:14

The Dreaming (Dreamtime) (ザ・ドリーミング(ドリームタイム))

60,000年前から存在していたと言われるオーストラリアの原住民には「ドリーミング」や「ドリームタイム」というコンセプトがあります。これはただ夢を見ることではなく、原住民諸語じゃない言語でも言い表しにくい概念です。古今東西、創世、仁義、万物のつながり等の意味が含まれる総括的な言葉です。大勢にとって、ドリームタイムという言葉を知ったら、原住民の神話、特に世界の創造が思い浮かびます。

世界のすべては時の始まりに原住民の先祖が作ったと言われていて、その先祖は動物の神々みたいなものでした。原住民の部族はたくさんで大きく広がりましたが、どこの部族だって、「虹蛇(にじへび)」が原住民の神話によく現れます。

話によると、時の始まりに虹蛇は、大地を移動し峡谷を掘っていました。疲れて戻ると、水で腹いっぱいのカエルたちを呼び起こし、腹をくすぐったら水が噴き出して、掘っていたところは満たされて、川や湖となりました。水が大地に流れると、草や木が生え始め、大地を色で染めました。食べれる草と飲める水ができたから、虹蛇が他の動物たちを起しました。初めてクッカバラは笑い、ゴアナは歩き、ウオンバットは巣穴から這い出しました。それで、虹蛇は規則を定め「規則に従う動物は人間になることによって報われます。守らない動物は罰を与えます。」と宣言しました。一部の動物は規則に従って、人間になることができました。他の動物はルールに逆らって、山となる石に変えられました。

部族によって話の順番や細かいことは変わりますが、こんな風に世界の秩序、例えば石が特定な場所にあることや特定な形をしている理由、月が毎月満月に戻る理由、カンガルーが尾を持っている理由など、物事がどのようになったか、それぞれの物語があります。



巨大な蛇が通ったような西オーストラリアのパーズ市にあるスワン川

※ブレットさんの原文をほぼそのまま掲載しています。

地域連携DMO



秋田犬ツーリズム **だより**
AKITAINU TOURISM

今回は、新たに秋田犬ツーリズムの 仲間となったメンバーを紹介します!

1月13日より秋田犬ツーリズムの職員に着任しました、大阪府出身の上田将之です。現在このエリアについて猛勉強中ですが、一番苦労しているのが、秋田弁の聴解です。

英語圏での生活経験もあり、言葉の壁というものは体験しましたが、かなり難易度が高いと感じています。

しかし、その状況も楽しんでるところです。

この風光明媚な雪景色の中、一日でも早く、この地域を盛り上げていけるよう頑張ってます。小坂町へうかがった際にはよろしくお願ひします。



■お問い合わせ先

秋田犬ツーリズム事務局 (TEL070-2020-3085)



鹿角きりたんぼFM(79.1MHz)で放送中

〇〇小坂GU~N郡!だより

新年最初の放送では、康楽館を中心に毎年多くの学生に来町いただくための「教育旅行誘致」について紹介しました。普段よりも少し難しい内容になってしまったかもしれませんが、こうした活動も町の観光につながっているということを知っていただく機会になれば幸いです。引き続き町のために誘致に努めていきます。

放送されたものは鹿角きりたんぼFM公式YouTubeでいつでも聴くことができますのでぜひどうぞ!



今月の放送 2月22日(水)13時~

番組へのメッセージ、リクエストはこちらへ

E-Mail : radio@fm791.net

FAX : 25-8817

(鹿角きりたんぼFM〇〇小坂宛)

■お問い合わせ先 観光産業課観光商工班 (TEL29-3908)